



専修学校制度制定50周年を記念して開催

専修学校制度制定50周年記念式典 専修学校教育功労者80名を表彰

文部科学省は7月4日、アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）で行われた「専修学校制度制定50周年記念式典」において、専修学校教育功労者表彰を行った。

同表彰は、専修学校制度発足50周年を記念して、専修学校教育に長く従事し、その功績が顕著な者及び専修学校教育の振興に特に功に報いるとともに、専修学校教育の発展に

資することを趣旨とするもの。文部科学省からは武部新文部科学副大臣や茂里毅総合教育政策局長らが出席した。

冒頭、全国専修学校各種学校総連合会の多忠貴会長からの式辞の後、武部副大臣が祝辞を述べ、「近年、技術革新の進展や社会の複雑化が進む中、専修学校には多様なニーズに応える質の高い教育を提供することが求められている。引き続き、熱心な取組を期待するとともに、文科省としても、専修学校の更なる振興に取り組んでいく」と決意を示した。また、専修学校等振興議員連盟会長の遠藤利明衆議院議員からも祝辞が述べられた。



多会長

文部科学大臣表彰状授与では、武部副大臣から被表彰者を代表して学校法人浦山学園の浦山哲郎理事長に表彰状が授与され、その後浦山氏から「今日の栄誉は私どもにとって大きな励みであり、教育に携わる者としての責任を改めて感じている。今後はこれまで以上に自らの可能性に挑戦し続ける人材の育成を通して、社会の発展に寄与できるよう、より一層努力する」と謝辞が述べられた。



武部副大臣



遠藤衆院議員

専修学校制度制定50周年を記念して開催